

2013 年以降の対策・施策に関する報告書
(骨子・素案)

※青太字の箇所が小委員会で御議論いただく内容

1. 検討経緯・検討方針・検討プロセス
～小委員会の検討方針等から記述
2. 気候変動に関する科学的知見
～第 101 回部会の議論を踏まえて記述
3. 国際交渉の状況
～第 101 回部会の議論を踏まえて記述
4. 我が国の温室効果ガス排出量の状況
～京都議定書目標達成計画の進捗状況を基に記述
5. 長期目標を視野に置いた持続可能な低炭素社会の将来像
～マクロフレームWG、技術WG、地域WGの報告を踏まえて記述
6. 国内排出削減対策の複数の選択肢の原案
 - (1) 複数の選択肢の原案設定の考え方
～対策強度によって高位・中位・低位の 3 ケース、原発の想定について 4 ケース、成長率の想定について 2 ケースによってケース分け
 - (2) 国内温室効果ガス排出削減に関する部門別の検討
 - ①産業部門（低炭素ビジネスWGの検討）
～低炭素ビジネスWGの報告とそれに関する議論を踏まえて記述
 - ②運輸部門（自動車WGの検討）
～自動車WGの報告とそれに関する議論を踏まえて記述

③業務・家庭部門（住宅・建築物WGの検討）

～住宅・建築物WGの報告とそれに関する議論を踏まえて記述

④エネルギー転換部門（エネルギー供給WGの検討）

～エネルギー供給WGの報告とそれに関する議論を踏まえて記述

⑤農林水産分野の取組及び非エネルギー起源温室効果ガス排出削減

～事務局及び農林水産省の説明資料とそれらに関する議論を踏まえて記述

（3）2020年及び2030年の地球温暖化対策の複数の選択肢原案

～国立環境研究所の報告及びそれに関する議論を踏まえて記述

（4）経済への影響・効果分析

～今後の小委員会及び部会の議論を踏まえて記述

（5）複数の選択肢の原案の評価

～今後の小委員会及び部会の議論を踏まえて記述

7. 国内の吸収源対策

～第104回地球環境部会の議論等を踏まえて記述

8. 国際貢献

～第104回地球環境部会の議論等を踏まえて記述

9. 適応策

～第104回地球環境部会の議論等を踏まえて記述

10. 2013年以降の地球温暖化対策・施策に関する計画策定に当たっての提言

～今後の小委員会及び部会の議論を踏まえて記述